

視聴覚教育

NO. 465

発行日

R3. 6. 1

編集・発行

岡崎市 A V L

編集協力

現職研修委員会

学習情報部

これ知ってる！？

デジタル・シティズンシップ

情報技術を利用する際の、適切で責任ある社会的な行動規範のこと。生活を豊かにするために、情報技術を活用しようとする前向きな態度であり、情報技術の特性を理解し、自らの行動や考え方の善悪を正しく判断できる姿を目指す。

視聴覚教育あれこれ！！

令和三年度 学習情報部方針

研究主題

デジタルシティズンシップを高め、Society 5.0を伸びやかに生きる子供の育成

研究の重点

①【各教科・領域の授業における 効果的なICTの活用】

ICTの効果的な活用を通じた、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた研究

②【各教科・領域の授業で横断的に進める 情報活用能力の育成】

「岡崎版GIGAスクール構想」の円滑実施に向けて必要となる子供の情報活用能力の研究

③【教師のICT活用指導力の向上と、効率的な校務の実現】

教育の情報化に対応する教師のICT活用指導力の向上と、ICT活用による効率的な校務の実現

各部会の活動

〔広報部会〕

・各種調査の実施と調査結果や分析の広報

・月報「視聴覚教育」など視聴覚ライブラリー発行物の編集協力

〔授業研究部会〕

・一人一台タブレット端末の活用による「誰一人取り残さない教育」の実現に向けた実践と報告

・情報モラル指導や情報活用能力育成推進のための研究

・視聴覚ライブラリーの教材・機材の効果的な活用方法と、アプリなどのインターネット教材の活用促進

〔研修部会〕

・教師のICT活用指導力向上に向けた研修の計画・実施

・教育の情報化に関する先進校の取組の研究

情報化社会とデジタル・シティズンシップ

新香山中学校 校長 小田 哲也

新しいスマホのCMが目につく。でも私は未だにガラケー派。私のガラケー利用は電話とショートメールだけだが、問題はなく、しかも安い。昨年、買い替えた自家用車でも、Bluetooth経由でハンズフリー操作ができる。運転していると、バス待ちの高校生がスマホを触っている姿が目に入った。SNSで一心に書き込みをしているようだ。スマホ歩きもスマホ自転車もよく見かけるが、周りの景色には、興味ないようだ。イワツバメが飛びだしたとか、アジサイが咲きだしたとか、ウグイスの鳴き方が上手になったとかは、目に耳に入ってこないのだろうか。チャットで利用できるのはテキストのみで、写真や動画は、匂いもなければ手に質感も感じない。情報が少ないことから誤解が生じやすい。スマホは便利な機能があるが、その利用に頼りすぎて、失われているものがあると危惧している。デジタルのよさが現実社会とマッチするには、もう少し経験が必要だろう。

情報化社会でも現実社会でも、大切なことは、「人」が使うということ。岡崎版GIGAスク

ールで整備された情報端末は、学びの幅を広げている。使うほど、機能や使い方の利点と欠点が明らかになり、岡崎の小中学生は、すでによりよい使い方を工夫し始めている。その利用が現実社会でなじむように、ルールやマナーを考えている。中には、現実社会と同様に、そのルールから逸脱する問題も出てくることから、指導者をはじめとする大人の力も必要になる。情報化社会でも現実社会でも、大切なことは、「社会」で使うということ。その社会では個人の役割があり、権利がある。情報化社会での責任ある行動規範を「デジタル・シティズンシップ」と呼んでいる。デジタル時代を生きる子供たちが、デジタル社会でのリスクを知り、安心・安全に利用するための教育は、ユネスコなどの国際機関で、すでに進められている。岡崎の子供たちが経験するには「今がそのとき」なのだ。尊重することや責任もつことは、普段の生活でも学んでいる。情報化社会とは、現実の社会の中にあるのだ。相棒のガラケーに機能が少ないからか、私は鳥や花を見る機会を失わないで済んでいる。ガラケーは来年でサービスを終了するが、5Gに乗り換えても、四季の移りを肌で感じる自分であることが大切だと思っている。

令和三年度 学習情報部組織

部長

小田 哲也（新香山中）
岡 秀之（羽根小）

教育委員会担当

村田 貴志（岡崎市教育委員会）
杉坂 和俊（岡崎市教育委員会）

視聴覚ライブラリー

近藤 雄一（所長補佐）

指導員

河合 泰宏（羽根小） 太田 尚志（藤川小）

世話係

岩川 皓司（六北小） 鈴木 広樹（額田中）

各部世話係

〔広報部会〕

鈴木 一史（竜海中） 石谷 遼一（生平小）
渡邊 智文（大樹寺小）

〔授業研究部〕

岩川 皓司（六北小） 服部 将也（梅園小）
水野 利明（矢作中） 鈴木奈穂子（新香山中）
鈴木 俊宏（男川小） 手嶋 夕菜（羽根小）
神谷 明彦（三島小） 吉田あゆみ（岩津小）

〔研修推進部〕

鈴木 広樹（額田中） 杉山 康子（常磐小）
忠内 亮太（大門小）



各種大会

・研究会の案内

《研究会》

- ・おかげさす プログラミング・フェスタ2021
- ・7月27日（火）総合学習センター
- ・三教研ICT活用研究会
- ・8月3日（火）幸田町民会館
- ・県放送教育特別研究会
- ・8月24日（火）ウインクあいち

《研修会》

- ・授業力・教師力アップセミナー

【基礎編】7月28日（水）

【応用編】8月4日（水）

《研究論文》

- ・学習情報部自主研修会「TAV」（随時）
- ・ちゅうでん教育振興助成（6月11日（金）締切）
- ・パナソニック教育財団実践研究助成（例年1月下旬締切）

※県や市の教育論文をはじめ多くの機会があります。日頃の実践成果をまとめてみましょう。

《コンクール》

- ・ふるさと岡崎メディアコンクール
- ・ICT夢コンテスト など

《児童・生徒のコンクール》

- ・ふるさと岡崎メディアコンクール
- ・NHK杯全国中学校放送コンテスト愛知県大会
- ・アジア国際子ども映画祭
- ・キューブ活用コンテスト
- ・日本こども映画コンクール
- ・パナソニックKWN日本コンテスト など

ライブラリーだよ

所長

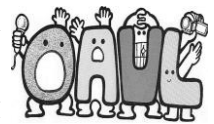
福澤 純子

所長補佐

近藤 雄一

職員

鳥居 貴浩 稲垣 俊雄
西村 知江 鶴田 真紀



連絡先 岡崎市
視聴覚ライブラリー
23-6789

本年度、視聴覚ライブラリーは新メンバーを迎えてのスタートとなりました。皆様のお力になれるよう業務に取り組んでいきます。視聴覚ライブラリーが行っている主な学校教育関係の支援内容を紹介します。

●情報モラル出前講座

児童生徒や保護者を対象とした情報モラル出前講座を随時行っています。内容は「SNSとの上手な付き合い方」、「ネット上のトラブルや犯罪事例の紹介」など。講座の開催希望がありましたら、右記載の連絡先に御相談ください。

●配信・Web会議支援

新型コロナウイルス感染症防止対策として日常的にTeams配信やWeb会議が行われるようになりました。そこに必要な各機器接続のケーブルやビデオカメラの貸出を行っています。準備の段階で御相談ください。

●教材の貸出

貸出用教材（マルチメディア含む）を四千本以上保有しています。教材の検索は、各校に送付しました教材目録かHPを御利用ください。巡回郵便での貸出・返却も可能です。